

環境

No.17

発行日：2013.11.15

Environmental Newsletter

ニュースレター

Contents

今年の夏の異常気象と温暖化の影響 2~3

環境大賞受賞者の紹介 4

ご存じですか？秋田県認定リサイクル製品 5

こどもエコクラブ 6

あきたエコマイスター紹介 高橋陽子さん 6

能代市立鶴形小学校 7

うちエコ診断受診者募集中です 7

イベント情報 8

極端な天候となった

今年の夏の異常気象と温暖化の影響

日本の極端な天候について

今年の夏の天候は、気温は高温、雨量は地域によって極端な差が現れました。気象庁の異常気象分析検討会では、極端な天候の特徴や、要因となった大規模な大気の流れについて分析し、見解をまとめています。

1 極端な天候の特徴

高温

東日本、西日本、沖縄・奄美地域では高温の日が続き、6月から8月までの平均気温平年差は例年を上回りました。また、8月上旬から中旬にかけての高温ピーク時には日本の最高気温を記録し、各地の観測地点^{※1}でも日最高気温、最低気温の記録更新^{※2}も続くなど、全国的に暑夏となりました。

※1：気象官署を含むアメダスによる記録

※2：今年の8月12日までの観測結果で、タイ記録を含む

●日最高・最低気温の記録更新した地域

日最高気温の最も高い記録更新… **106地点**
日最低気温の高い記録更新…………… **68地点**

大雨と少雨

夏の降水量は、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美の一部では少なく、東北地方と日本海側の地域では多くなりました。特に東北地方は、たびたび大雨に見舞われた7月の降水量が統計を開始した1946年以降で最も多くなりました。また、山口県、島根県、秋田県、岩手県の一部地域では過去に経験したことのない豪雨に見舞われました。

大雨：日本海側の地方を中心とした多雨

地域	7月降水量平年比	統計開始以降順位
東北地方	182%	1位
北陸地方	151%	4位

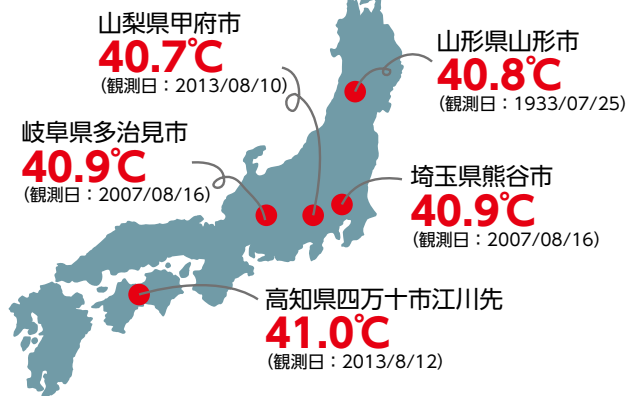
※統計開始は1946年から

夏の地域平均気温平年差の歴代順位と今夏比較

	1位	2位	3位	今夏
北日本	+2.2℃ (2010)	+1.9℃ (1978)	+1.5℃ (1999他)	+1.0℃ 10位タイ
東日本	+1.5℃ (2010)	+1.3℃ (1994)	+1.1℃ (2013他)	+1.1℃ 3位タイ
西日本	+1.2℃ (2013)	+1.1℃ (1994)	+0.9℃ (2004)	+1.2℃ 1位
沖縄・奄美	+0.8℃ (1991)	+0.7℃ (2013他)	—	+0.7℃ 2位タイ

※統計を介した1946年以降の記録より

日本での日最高気温の記録更新



少雨：東・西日本太平洋側と沖縄・奄美の一部地域の少雨

地域	7月降水量平年比	統計開始以降順位
九州南部・奄美	11%	1位
東海地方	64%	3位

※統計開始は1946年から

2 秋田県、岩手県で発生した「これまでに経験したことのない大雨」とは

8月9日～10日にかけて、記録的な大雨が断続的に降りました。鹿角市では降り始めからの雨量が400mm近くに達するなど、各地で8月1ヶ月分を上回る雨量を観測しました。秋田・岩手県内では「これまでに経験したことのない大雨」により、浸水被害や土砂災害などが多数発生しました。

大雨による降水量（アメダス観測値）

単位：mm

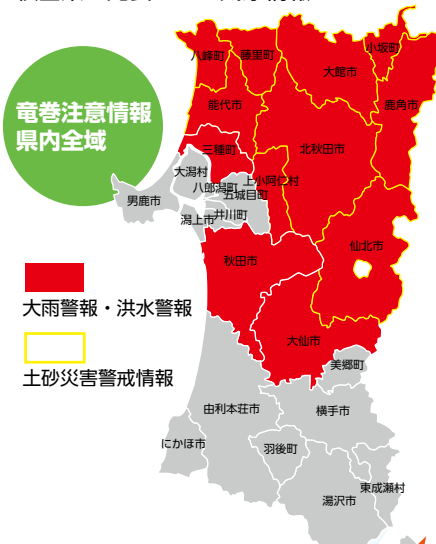
地域	1時間降水量 (最大値)	24時間降水量
秋田県鹿角	108.5 (～9日10:52)	293 (～10日5:30)
// 鎧畑	88 (～9日8:57)	292 (～10日5:20)
// 桧木内	81 (～9日8:39)	250.5 (～10日5:00)

※降水量：降水が全て地表にたまったと仮定した場合の水深

被害

- 仙北市で発生した土砂崩れによる人的被害
- 鹿角市、大館市を中心に発生した床下・床上浸水等の住宅被害
- 鹿角市、大館市、仙北市の一部地域に避難指示と避難勧告
- 道路の冠水、路肩崩壊、土砂流出による交通規制

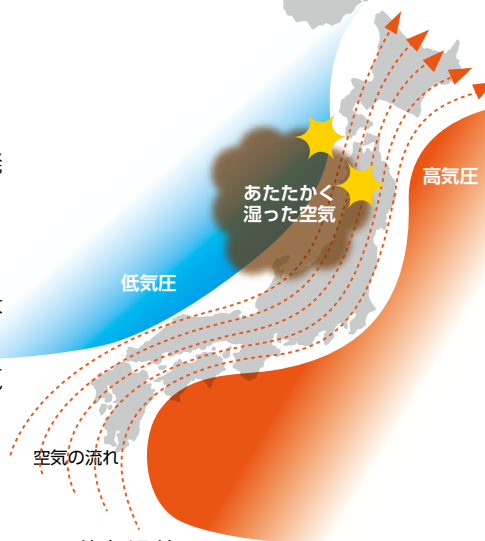
秋田県で発表された気象情報



3 大雨をもたらした要因

大きな被害をもたらした「これまでに経験したことのない大雨」が発生した要因は、偏西風の蛇行、太平洋高気圧やチベット高気圧の強さ、海面水温の温度変化等、地球規模の事象が影響しています。

- 太平洋高気圧の西への張り出しが強く、その周縁に沿って南から日本海側へ水蒸気が流入した
- 平年よりかなり温かった日本海により、大量の水蒸気を含んだ空気がほとんど水蒸気を失わずに東北地方に達した



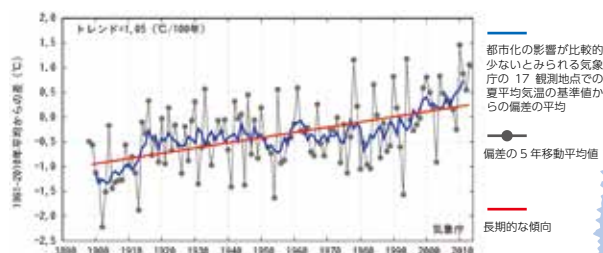
4 今年の大雨や高温は特別なことなのか

今夏の極端な天候を始め、異常気象の発生要因は地球規模の事象が関係しています。長期的なデータから降雨量や気温の変化などの推移をグラフ化した場合、このようになっています。

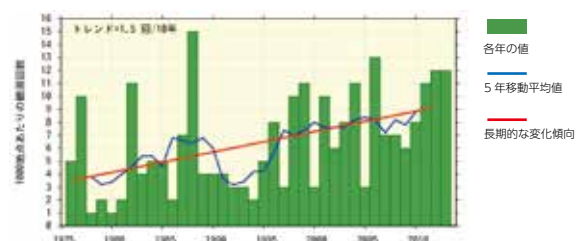
データから長期的な傾向で降水量は増加、気温は上昇しています。また、気象庁が命名した「災害をもたらした気象事例」の中で昭和36年以降に豪雨とされている事例14件中、平成16年以降が7件と、降水量含め、短期間での大雨が発生しています。

気象庁の異常気象分析検討会では、気温の長期変化傾向について、猛暑日の年間日数の増加傾向が明瞭に現れており、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響が現れているとみています。

日本の夏平均気温差



[アメダス]1時間降水量80ミリ以上の夏季観測回数



5 全てが地球温暖化の影響なの？

環境省では地球温暖化対策として低炭素社会の実現に向けて様々な対策を行っています。国連の「気候変動に関する政府間パネル」（IPCC）による第5次評価報告書の公表が6年ぶりに始まり、温暖化原因は人の活動が起因である可能性が「極めて高い」などの報告をしています。

ただし、地球温暖化に関して懐疑的な意見も多数あります。大雨や台風、猛暑等全て地球温暖化が要因と断定

することは難しく、「可能性が高い」、「予測される」等で示されています。

産業革命以降、大気中のCO₂濃度は上昇しており、低炭素社会の実現が求められています。地球温暖化の影響を見極めるためには、数十年の長期的な観点で捉えることが重要ですが、今出来ることを考え、地球に優しい行動をすることも大切なのではないのでしょうか。

※こちらのデータは、気象庁発表のものを参考に記載・出典させていただきました。

環境大賞受賞者の紹介

朝倉 孝子さん

環境活動～わたしたち市民が主役です～

省エネルギー普及指導員、秋田県地球温暖化防止活動推進員、環境カウンセラー等の資格を活かして、小学生から高齢者まで幅広い年齢層を対象に講演・講座を開催し、地球温暖化防止と環境問題を身近に感じてもらい、それぞれの立場から実践可能な環境活動を提案しています。



和賀 正治さん(和賀製畳店)

循環資源の稲わらを活用した「エコたたみ」の製造と普及活動

再生稲わらを畳製品として有効活用した「エコたたみ」の製造を通じて野焼きによる稲わらスモッグの減少や廃棄物の減量を図るとともに、製造マニュアルを策定し、畳業界の連携を図って「エコたたみ」普及のための活動を広げています。



能代市立鶴形小学校

「鶴の恩返し隊」出動！～ふるさとと共に生きる～

モリアオガエルの観察や地元の老人クラブとともにやっている鶴形駅の清掃、児童会におけるリサイクル活動に加え、平成25年4月にはこれまでの取り組みを発展させた「鶴の恩返し隊」を結成し、清掃活動による地域との交流を通じた環境教育・学習に取り組んでいます。



横手川紫陽花回廊運動株主会

横手川紫陽花回廊運動

横手川の両岸約4kmに紫陽花を24種類1,123株植栽し、維持管理を行っています。あじさい株券を発行し、現在延べ955人の株主により会が運営され、横手川の美しい景観ときれいな水環境を守る運動への理解を深めると共に、地域との交流の輪を拡大しています。



NPO法人海の森づくり推進協会

男鹿における海の森づくり

海に囲まれた日本の状況を活かし、男鹿の海において大型海藻養殖による「海の森づくり」を推進し、自治体、民間企業、高等学校が活動に参加するなど地域との連携を図り海洋資源の維持、生態系の保全について取り組んでいます。



秋田県副知事を囲んでの記念写真

秋田県副知事を囲んで左から、時計回りに
地球温暖化防止部門を受賞した 朝倉 孝子 さん
循環型社会形成部門を受賞した 和賀 正治 さん
環境美化部門を受賞した 横手川紫陽花回廊運動株主会 運営委員長 阿部 脩二 さん
環境保全部門を受賞した「NPO法人海の森づくり推進協会」代表理事 松田 恵明 さん
環境教育・学習部門を受賞した 能代市立鶴形小学校 5年 児玉 睦希 さん

詳しくはWebにアクセス！！

秋田県環境大賞

検索

ご存じですか？ 秋田県認定 リサイクル製品



認定マーク

リサイクル認定制度とは？

秋田県では、条例に基づき、県内の廃棄物の減量化、リサイクルの推進、及びリサイクル産業の育成を図るため、秋田発の優れたリサイクル製品を知事が認定し、利用を推進しています。

(秋田県リサイクル製品の認定及び利用の推進に関する条例：平成16年4月施行)

どんな製品があるの？

秋田県認定リサイクル製品は、側溝などのコンクリート製品や木質チップを材料にした舗装材、トイレレットペーパー、畳など、現在32の品目で246製品(平成25年9月時点)が認定されています。

どこで使われているの？

一番多く使われているのはコンクリート製品です。県道の側溝や縁石の入れ替え工事、田んぼを広くする、ほ場整備工事の用水路など、最近行われている工事では、その殆どで認定製品が使用されています。

また、公園などではベンチ・テーブルや木質チップでの園路の舗装、一般住宅ではフローリングや畳、合板などいろいろなところで使用されています。

県内各地にある、県が管理する公園や各施設で、認定リサイクル製品を使用しているところには、認定マークの表示がされた看板が設置されていますので、お出かけの際は認定リサイクル製品の良さを体感してください。

どこで買えるの？

秋田県認定リサイクル製品は、ホームセンター等で販売している製品はごく少数です。そのため製品の詳細や価格については製造している事業者直接向けお問い合わせください。

現在認定している製品や製造・販売事業者につきましては「秋田県認定リサイクル製品Webサイト」をご覧ください！



畳



フローリング



木質ペレット



再生有機系建材 木質系舗装材



再生有機系建材



加圧処理木材

詳しくはWebにアクセス！！

秋田県認定リサイクル製品Webサイト

検索



問い合わせ先

秋田県 生活環境部 環境管理課
TEL018-860-1572

こどもエコクラブ



雨の日の自然観察です

団体名

ひろおもてエコクラブ ～私たちの暮らす町を知って、色々な事に挑戦しよう～

ひろおもてエコクラブは秋田市広面地区の小学生19名とサポーター6名で構成され、メンバーの家族の協力を受けながら、毎月活動しています。

「私たちの暮らす町を知ろう」を目的に、学校の裏山や手形山での自然観察、大学病院裏でのホテル観察会、小学校周辺や手形山でのクリーンアップ大作戦、梵天を作成して三吉梵天祭への参加など、地域の環境や文化に触れています。

自然観察は、年間を通して、同じ環境を観察することにより、季節による植物や動物、昆虫の変化を感じることが出来ます。また、クリーンアップによって、地域にどんなゴミが捨てられているのか、捨てられやすい場所はどこかを知り、ポイ捨てを減らすことやリサイクルなど、環境を考えるきっかけとなっています。



ホオノキの実だよ

今日、クリーンアップによって、地域にどんなゴミが捨てられているのか、捨てられやすい場所はどこかを知り、ポイ捨てを減らすことやリサイクルなど、環境を考えるきっかけとなっています。

毎年10月に作成する活動をまとめた壁新聞が、昨年度、秋田県代表に選ばれ、「こどもエコクラブ全国フェスティバル2013」に参加し、全国の仲間たちと活動の紹介や交流を行うなど、活動への評価も得ています。

自分たちが暮らす町の良い所も悪い所も知ることで、環境に対する考え方の幅を広げ、自然に対する見方を育てながら、子どもたちはエコクラブ員として活動に取り組んでいます。



今日のレポート作成中



土を掘って観察してます

あきた エコマイスター紹介



活動紹介

高橋 陽子さん

高橋さんは、平成5年「能代市ゴミダイエットプラン」に消費生活モニターとして関わり、平成17年に循環型社会形成市民懇談会に参加したのをきっかけに平成18年からコンポスト見なおし隊としての活動を始めました。コンポスト見なおし隊は、「コンポスト容器をうまく使うための学習を行う」ことを目的とし、生ごみ堆肥化講習会、生ごみ堆肥の活用、イベントへの出展、床材*を地元で調達、他市町村との交流などを行っています。



高橋さん

平成18年にはごみナビボランティアの活動を始めました。この活動は、参加したボランティアが、それぞれ役割を受け持ち、イベントを支えています。メンバーは、災害発生時にその状況に応じた様々な役割を分担し活動できるように、普段のボランティア活動の中で、「役割を分

担する」訓練として行っています。平成20年には、能代市で開催された環境あきた県民塾を受講し、エコマイスターとなり、さらに活動の幅を広げています。

担する」訓練として行っています。

平成20年には、能代市で開催された環境あきた県民塾を受講し、エコマイスターとなり、さらに活動の幅を広げています。



講習会の様子

今後の抱負

「段ボールコンポストセットをすべて地元産で作りたい」と話しており、現在、唯一県外産の物も使用している床材を「全部地元産で作る」ための試験を重ねています。

取材者ひとこと

高橋さんは、消費生活モニターの活動からごみ処理に興味を持ち、コンポスト容器を活用してもらおうとコンポスト見なおし隊の活動を始めました。高橋さんのように、身近なところでのちょっとしたことから活動を広げていくことができます。身の回りのちょっとした事にも気を配り、日々の活動につなげることが大切だと思いました。

※床材（とこざい）：ビートモスともみ殻くん炭などを混ぜ合わせたものでごみを分解する微生物のすみかとなるもの



床材を地元調達するための実験



エコステーションでごみナビボランティアの活動

能代市立 鶴形小学校

～子ども(学校)が地域の核になる～

能代市立鶴形小学校は、米代川のほとり、JR奥羽本線鶴形駅から徒歩一分のところにある全校生徒29人の学校です。

「豊かな感性をはぐくむ楽しく明るい学校～地域と共に歩む学校～」を目指し、地域の方々やプロのミュージシャン、パルーンアーティスト等との多くの体験学習を行いながら、視点を増やし、心を育てる学習や活動に日々取り組んでいます。

子どもたちは、環境美化活動の一環として、地元老人クラブと共に年間を通して鶴形駅の清掃活動を実施しています。また、地域の方々の協力の下、そば作りや米作りを行うことで、多くの人と触れ合いながら、子どもたちは地域の方々のすごさを知り、自分たちの力を確かめる機会を得ています。

地域の方々と連携する中で、子どもたちには地域に恩返しをしたいとの気持ちが生まれ、校長室で行われる首脳会談*を経て、「鶴の恩返し隊」を結成し活動のエリアを全学区域へと広げました。また、6年生は修学旅行先の函館で、鶴形地区をPRする自作のパンフレットを旅行者へ配布するなど、鶴形地区を思いやる活動に繋がっています。

子ども(学校)が地域の核になることで、子どもたちと地域の方々との双方向連携に発展し、子どもたちはふるさと鶴形を誇りに自分たちが今できることに全力で取り組んでいます。

*首脳会談：校長先生と子どもたちの昼食会。話題によっては教頭や教務主任も同席。



4月12日 鶴の恩返し隊出動



5月28日 地域の方々と田植え



6月18日 地域の方々と学校林見学



6月19日 地区老人会の方々と駅清掃



10月2日 ソバ刈り取り

うちエコ診断 受診者募集中です



うちエコ診断とは、うちエコ診断員が専用の診断ツールを使って、ご家庭のエネルギー消費量やCO₂排出量の分析から「見える化」を行い、ご家庭の省エネ度を診断します。

ご家庭のライフスタイルに合わせて、給湯・冷蔵庫・自家用車などの分野別に、直ぐにできる取り組みから、家電製品の使い方など、様々なCO₂削減・省エネ対策をご提案いたします。

うちエコ診断のお申し込み

- 個人、グループ、企業からのお申込みをお受け致します。
- 受信者のご自宅での訪問診断、公共施設での会場診断等、ご希望にお応えします。
- 診断時間は約50分を予定しています。診断は無料で費用は一切かかりません。

お問い合わせ・お申込み

NPO法人 環境あきた県民フォーラム
〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2
遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309
E-mail mail@eco-akita.org
ホームページ www.eco-akita.org/onsen



- 分野別にCO₂排出量が計算されます
- すぐに取り組める省エネ活動が見つかります



- 診断はパソコンの画面を見ながら進めます
- 提案された対策を元に、診断員がアドバイスしながら一緒に考えます

北秋田地域ごみゼロあきた研修会

11/27
(水)

地域の小中学校での「ごみ減量化に向けた取り組み」の事例紹介や、「こどもごみゼロサミット」を通じて、生ごみのリサイクルを推進し、EM菌を利用した生ごみの減量化に関する啓発を図るためのイベントです。

■場 所／北秋田市交流センター 講堂
■時 間／13：30～16：30
■問合せ／北秋田地域振興局 鷹巣阿仁福祉環境部
環境指導課
電話 0186-62-1167

環境あきた県民塾 特別講座

12/1
(日)

身の回りのことから地球規模の問題まで、様々な環境問題について学ぶ、「環境あきた県民塾」の特別講座です。アーバンマインとは廃棄された電化製品の中に存在する資源（レアメタル等）を鉱山と見立てたもので、資源の再生（リサイクル）について学びます。受講料は無料です。

■場 所／秋田県生涯学習センター
■時 間／10：00～12：00
■問合せ／秋田県生活環境部環境管理課
電話 018-860-1571
E-Mail : kankan@pref.akita.lg.jp

地球温暖化に関するセミナー

12/7
(土)

今年の夏は全国各地で猛暑や豪雨、竜巻などの異常気象が発生しました。なぜ今年は異常気象が相次いだのか？地球温暖化と秋田の気象の関連は？気象予報士の貴重なお話が聞ける絶好の機会ですので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください！入場無料ですが、事前申し込みが必要となります。

■場 所／サンパル秋田 学習室1
■時 間／12：30～15：30
■問合せ／NPO法人環境あきた県民フォーラム
電話・Fax 018-839-8309
E-Mail : mail@eco-akita.org

冬の森かんじき体験&動物の足跡ウォッチング

1/18
(土)

フィールド内を「かんじき」を履いて散策します。その中で、動物の足跡を探しながら自然観察を行います。対象は親子、一般の方、募集は先着30名です。

■場 所／学習交流の森（プラザクリプトン隣接）
■時 間／9：00～16：00
■問合せ／プラザクリプトン
電話 018-882-5009

「あきたの自慢こ」写真を募集中！

観光戦略課イメージアップ推進室では、「あきたの自慢こ」写真を募集しております。

ユタカな自然、とっておきの温泉、アツイ祭りなど、皆様の「あきた自慢」を写真で投稿してください。

15歳以下による「あきたの自慢こ キッズ」コーナーも設けております。

投稿いただいた写真はホームページ又はあきたびじょん facebookページ

(<https://www.facebook.com/akitavision>) でご紹介さ

せていただきます。

投稿いただいた方のうち、毎月抽選で10名様にオリジナル「あきたの自慢こ手ぬぐい」をプレゼント致します。

●投稿方法：あきたびじょん特設サイト
「あきたの自慢こ」コーナーから
URL : <http://common.pref.akita.lg.jp/akitavision/main/>
●募集期間：平成26年2月28日まで

問い合わせ先

秋田県観光文化スポーツ部 観光戦略課イメージアップ推進室

電話 018-860-1073 FAX 018-860-3868 E-mail : image-up@pref.akita.lg.jp

発行

秋田県生活環境部環境管理課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
TEL 018-860-1571 FAX 018-860-3881
E-mail kankan@pref.akita.lg.jp

編集

NPO法人 環境あきた県民フォーラム

秋田県地球温暖化防止活動推進センター (ACCCA)

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎（秋田県ゆとり生活創造センター）内
TEL・FAX 018-839-8309 E-mail mail@eco-akita.org
ホームページ www.eco-akita.org/onsen

